

相談業務に 関わる皆さんへ

自己、そして他者を理解するために

—ひょうごいのちとこころを支える相談職員養成研修会—

自殺者や自殺未遂者の多くは、何らかの喪失（人間関係や仕事、経済面等）による悲嘆を抱えており、遺族や身近な人々は大きな心理的打撃を受けます。グリーフケアの場面において、援助者は基礎的な知識や技術だけではなく、自分自身の感情や感性を活かす形で、相手と誠実に向き合う必要性があります。

この研修では、講義やグループワークを通し、自分自身、そして他者の考えや感情の多様性を理解することで、適切に支援していく力を学んでいただきます。

1. 日時・場所

- | | | |
|---|-------------|-------------|
| ① | 10月 29日 (火) | 10:30~17:00 |
| ② | 11月 5日 (火) | 10:30~17:00 |
| ③ | 11月 6日 (水) | 10:30~17:00 |
| ④ | 11月 11日 (月) | 10:30~17:00 |
| ⑤ | 11月 12日 (火) | 10:30~17:00 |

兵庫県立のじぎく会館
(神戸市中央区山本通4丁目22-15)

2. 対象者

- ・自殺予防につながる相談対応をされる方
- ・原則、県内で相談対応をされる方
- ・今まで当研修会を受講したことがない方
- ・原則5回すべてを受講できる方

3. 参加費 無料

4. 講師 高木 慶子 先生 (他グリーフケア研究所講師)

5. 定員 30名 (申込が多数の場合は抽選)

6. 申込方法

- ・裏面に記載の上、郵送またはFAXにて **8月30日(金)** までにお申し込みください。
 - ・インターネットでの申込は、下記URLまたはQRコードから「いのちとこころを支える相談職員養成研修会」受付フォーム
<https://www.shinsei.elg-ont.jp/hyogo/uketsuke/dform.do?acs=inochitokokoro>
- ※この事業は、兵庫県からグリーフケア研究所が委託を受けて実施しています。



研修内容は、
裏面へ！



問い合わせ先

兵庫県健康福祉部障害福祉局いのち対策室
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL: 078-341-7711 (内線3092)
FAX: 078-362-3911

～研修内容について～

1日目：座学

⇒グリーンケアの基礎知識、セルフケア、グループワークの意味等

2日目：グループワーク「生育歴」

⇒過去の家族関係を振り返ることで、自分自身を形作っているものへの理解を深めると同時に、グループメンバーへの関わりを通して、様々な生育歴を背負った他者にどう関わることを学ぶ。

3日目：グループワーク「死生観を語る」

⇒自身の死生観を語ることでケアに活かすべく自分自身を深めると同時に、死生観を語るグループメンバーへの関わりを通して答えのない問題にどう関わることを学ぶ。

4日目：グループワーク「会話記録検討」

⇒他者との関係に現れる自分自身を見つめ、自己理解を深めることで、ケアの場面に自分自身を活かすことを学ぶ。

5日目：グループワーク「成果報告」・座学「まとめ」

⇒これまでの学びを振り返り、今後のケアの場面にどう活かしていくことができるかを考える。

※注意事項※

1. 個人作業や、グループ作業を通して、自分自身の歴史を深く見つめ、自己の感情や考え方の傾き等を知ると同時に、他者の考えや感情の多様性に気づいていくことを目的としています。
2. 1の目的のため、自分自身のことについて語っていただく時間があります。
3. 各グループワークでは、準備課題が必要になります。
4. 各グループにはスーパーバイザーの先生が2人ついています。

いのちとこころを支える相談職員養成研修会 申込書 (締切日 令和元年8月30日(金))

※チラシを熟読し、研修の目的やグループワークの内容について、理解しましたか？

はい

いいえ

(ふりがな) 名前		性別	男 ・ 女	年代	() 歳代
所属		職種			
住所	〒				
電話番号					
FAX番号					
メールアドレス					